

[資料 3]

データヘルス計画の実施状況について

令和2年10月

山口県後期高齢者医療広域連合



# 1 データヘルス計画の実施状況について

健康課題	保健事業	評価指標	現状 H28	実績 H30	実績R元		数値等目標		
					対 H28	対 H30	R2	R5	
健康診査の 受診率向上等	健康診査	受診対象者の抽出	-	実施	実施		→	-	実施
		受診勧奨による受診率	4.7%	2.5%	6.9%	↑	↑	8%	10%
		健診受診率	18.3%	36.2%	30.4%	↑	↓	50%以上	50%以上
	医療機関 受診勧奨	受診勧奨による受診率	-	31.2%	31.9%		↑	8%	10%
		医療機関受診率	98.6%	98.2%	98.5%	↓	↑	増加	増加
生活習慣病等の 重症化予防	糖尿病 治療中断者 受診勧奨	糖尿病治療中断者の 再受診率	-	6.9%	10.7%		↑	8%	10%
	糖尿病性腎症 重症化予防 モデル事業	保健指導による血液検査 値が改善した人の割合	H31 予定	(保健指導実施中)	66.7%			50%以上	50%以上
フレイル 等予防	歯科健康診査	歯科健診受診率	5.7%	7.7%	7.8%	↑	↑	8%	10%
	高齢者の 低栄養防止等	訪問歯科健診、栄養指導 等の実施市町数	3市町	2市町	1市町	↓	↓	増加	増加
健康増進活動の 推進	後発医薬品の 使用促進	後発医薬品数量シェア	64.8%	73.2%	76.8%	↑	↑	75%	80%
	訪問健康相談	前回の訪問指導実施の把握	実施	実施	実施	→	→	実施	実施
		訪問指導による改善率	79.4%	86.0%	81.5%	↑	↓	85%以上	90%以上
	やまぐち 長寿健康 チャレンジ	市町の健康増進事業の 実施（体制整備）	5市町	4市町	4市町	↓	→	増加	増加
		参加者数	-	646人	770人		↑	1,000人 以上	1,000人 以上
	市町との 連携強化	市町における保険・健康・ 介護合同検討会議の開催	-	実施 (17市町)	実施 (19市町)		↑	実施	実施
		市町を対象とした研修会 の開催（体制整備）	-	未実施	未実施		→	実施	実施
		KDBデータの活用市町数 (健康・介護分野)	-	17市町 (ID付与)	19市町 (ID付与)		↑	9市町	19市町
		保険者協議会との連携	連携	連携	連携	→	→	連携	連携

## 2 できる限り長く自立した日常生活を目指して

### (1) 健康診査

#### ①実施概要

- 【実施期間】 令和2年6月上旬頃～令和3年3月31日
- 【検査項目】 問診、診察（身体計測、血圧）、尿検査（尿糖、尿蛋白）、血液検査（脂質、血糖、肝機能、腎機能、貧血、栄養）
- 【自己負担】 500円
- 【実施機関】 県内718医療機関（令和2年4月1日時点）
- 【実施方法】 個別健診及び集団検診  
 ※集団検診については、宇部市、山口市、萩市、防府市、岩国市、光市、長門市、山陽小野田市、周防大島町、上関町、平生町、阿武町で実施。  
 美祢市、和木町は中止。

#### ②受診率及び受診者数

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実 績	受診率	19.3%	18.2%	20.8%	36.2%	<b>30.4%</b>
	被保険者数※	226,340人	230,766人	234,907人	238,764人	242,144人
	対象者数	194,886人	197,949人	183,849人	91,465人	115,635人
	受診者数	37,564人	36,089人	38,299人	33,136人	35,186人

※被保険者数については各年度とも4月1日時点の人数

#### ③健康診査の受診勧奨による受診率

年度ごとに対象者を抽出し、健康診査の受診勧奨通知を送付する。

年 度	対 象 者	送付 者数	勧奨後 受診者数	受診率
平成28年度	・平成27年度以降受診歴なしで、平成26年度以前に受診歴あり ・平成27年度新規資格取得者で受診歴なし	16,901人	792人	4.7%
平成29年度	・過去5年間（H24～H29）に受診歴なし（除外者、H29年達者除く。）	126,203人	3,505人	2.8%
平成30年度	・平成29年度以降受診歴なしで過去1年間（H29.10～H30.9）に医療機関の受診歴なし	5,985人	138人	2.5%
令和元年度	・平成30年度以降受診歴なしで、平成29年度以前に受診歴あり ・平成30年度新規資格取得者で平成30年度以降に受診歴なし ・平成30年度の受診勧奨対象者で平成30年度以降に受診歴なし	16,378人	1,083人	<b>6.9%</b>

### (2) 医療機関受診勧奨

前年度健康診査受診者のうち、健診結果において、血圧・脂質・血糖・肝機能・腎機能・貧血・栄養の項目のうち、1つ以上の項目が受診勧奨判定値以上になっているが、その治療目的で医療機関を受診していない方を対象に、医療機関受診勧奨通知を送付する。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
勸奨通知送付数	1,026人	1,869人	1,654人	1,865人
勸奨後受診者数	260人	583人	527人	—
受診勸奨による受診率	25.3%	31.2%	31.9%	—

○健康診査受診者の医療機関受診率

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
医療機関受診率	98.3%	98.3%	98.5%

(3) 糖尿病治療中断者受診勸奨

①実施概要

【実施目的】 糖尿病が重症化するリスクの高い治療中断者等に対し、適切な受診勸奨の働きかけを行うことで、治療に結びつけることを目的とする。

【対象者】 ㉞ 過去に糖尿病の治療を受けていたが、令和元年度に糖尿病の治療を受けていない者（治療中断者）

㉟ 過去の健診検査値（HbA1c）が基準値以上だったが、令和元年度に糖尿病の治療を受けていない者（未受診者）

【内 容】 対象者に受診勸奨の案内を郵送。

②対象者数及び勸奨率

年度	対象者	送付者数	勸奨前 受診者数	勸奨後 対象外	勸奨後 受診者数	受診率		
H30	治療中断者	394人	402人	30人	7人	23人	6.4%	6.9%
	未受診者	8人		1人	0人	2人	28.6%	
R1	治療中断者	319人	335人	86人	3人	24人	10.4%	10.7%
	未受診者	16人		4人	0人	2人	16.7%	

(4) 歯科健康診査（お口の健康診断）

①実施概要

【実施期間】 令和2年6月中旬頃～令和3年1月31日

【検査項目】 基本項目（残存歯数、むし歯の有無等）、口臭、咬合力機能、口腔機能（舌の動き）、嚥下（えんげ）機能、口腔乾燥、総合評価

【対象者】 ㉞ 前年度における75歳年齢到達による新規資格取得者  
 ㉟ 前年度における75歳未満の障害認定による新規資格取得者  
 ㊱ これまでに当該歯科健診を受診したことがなく、受診を希望する者（当該年度の新規資格取得者を除く。）

【実施機関】 県内477歯科医療機関（令和2年4月14日時点）

【自己負担】 無料

【受診券】 対象者㉞㉟：6月中旬頃までに、広域連合から封書で郵送。  
 対象者㊱：お住まいの市町の担当窓口で、受診券交付申請をする。  
 （受付開始：受診券発送後、先着1,000人）

②受診率及び受診者数

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実績	受診率	5.66%	5.63%	7.65%	7.82%
	被保険者数※	230,766人	234,907人	238,764人	242,144人
	対象者数	18,279人	18,932人	18,736人	18,275人
	受診者数	1,035人	1,066人	1,434人	1,429人

※被保険者数については各年度とも4月1日時点の人数

(5) 高齢者の低栄養防止・重症化予防等の推進

市町の実施する高齢者の低栄養防止・重症化予防等に係る事業に対して、補助金を交付する。

事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
在宅要介護者を対象とした 訪問歯科健康診査	3市町 (山口市、萩市、阿武町)	2市 (山口市、下松市)	2市 (山口市、下松市)	1市 (下松市)

(6) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進

①実施概要

○ジェネリック医薬品使用促進リーフレット配布（希望カード付）

【対象者】 本年度新規資格取得者

ジェネリック医薬品利用差額通知書送付対象者

被保険者全員（5年に一度、本年度実施）

【配布方法】 新規資格取得者の被保険者証送付時に同封して発送

ジェネリック医薬品利用差額通知書送付時に同封して発送

一斉更新の被保険者証送付時に同封して発送（5年に一度、本年度実施）

○ジェネリック医薬品利用差額通知発送

【対象者】 ≪平成31年3月まで≫

・ジェネリック医薬品への切替による差額が、300円以上となる方

≪平成31年4月から≫

・ジェネリック医薬品への切替による差額が、200円以上となる方

※対象医薬品に、「259 その他泌尿生殖器官及び肛門用薬」「325 たん  
白アミノ酸製剤（滋養強壯剤）」を追加

②実績及び費用効果

○リーフレット配布

【配布部数】 36,365部（令和元年度）

○差額通知発送

【発送回数】 2回（令和元年11月、令和2年3月）

【発送枚数】 令和元年11月： 11,166通

令和2年 3月： 6,999通

合計：18,165通

○ジェネリック医薬品使用実績

【目標指標】 数量ベースで80%（令和2年9月までに）

【使用実績】 76.8%（令和2年3月診療分）

【算出方法】 使用実績(%) = 後発医薬品 ÷ (切替可能先発医薬品 + 後発医薬品) × 100

年 度	医薬品使用量（数量ベース）			
	切替不可能 先発医薬品	切替可能 先発医薬品	後発医薬品	使用実績
平成 28 年度	516,473	390,855	720,477	64.8%
平成 29 年度	478,473	349,922	784,818	69.2%
平成 30 年度	463,976	295,337	808,364	73.2%
令和元年度	470,857	252,552	836,070	<b>76.8%</b>

※各年度とも年度末時点の実績

○切替状況及び費用効果

年 度	ジェネリック医薬品切替状況			切替による削減効果			
	差額通知 発送人数	ジェネリック 切替人数	切替率	保険者負担額（円）		自己負担額（円）	
				1人当たり		1人当たり	
平成28年度	3,752人	494人	13.2%	2,309,975	4,676	323,111	654
平成29年度	12,794人	2,269人	17.7%	6,990,547	3,081	917,590	404
平成30年度	5,208人	438人	8.4%	1,528,304	3,489	198,770	454
令和元年度	11,204人	867人	7.7%	2,428,792	2,801	325,428	375

※各年度とも8月診療分と12月診療分の比較における数値

(7) 訪問健康相談

※本年度は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、訪問健康相談事業の実施は見合わせます。

①実施概要

【実施目的】 健康相談員（保健師、看護師又は管理栄養士等）が、対象者の健康管理支援や受診に関する指導、福祉制度等に関する情報提供を行い、適切な医療機関受診の促進及び健康の維持・増進、症状の重篤化の防止等に繋げることで、増加する医療費の軽減を目的とする。

【実施形態】 委託契約に基づく業務委託

【委託期間】 4月中旬から翌年3月31日まで

【対象要件】 広域連合にて基準を設定

【訪問回数】 400回

【訪問時期】 8月から12月

②実績及び費用効果

【抽出条件】 同一医療機関における受診日数が15日以上ある月が5か月以上同一疾病について、3か月連続で3か所以上の医療機関を受診（抽出前の）直近2か月の間のレセプト枚数が5枚以上

年 度	訪問指導 実施人数	訪問指導 実施回数	効果の あった者	1ヶ月あたり の効果額	改善 割合	1人あたり の効果額
平成27年度	151人	200回	105人	△2,953,115円	69.5%	△28,125円
平成28年度	136人	200回	108人	△2,382,015円	79.4%	△22,056円
平成29年度	155人	257回	114人	△1,933,271円	73.5%	△16,959円
平成30年度	313人	400回	269人	△2,621,752円	86.0%	△9,746円
令和元年度	275人	400回	224人	△3,189,229円	<b>81.5%</b>	△14,238円

※効果額については各年度とも医療費ベース

(8) やまぐち長寿健康チャレンジ

被保険者が健康診査の受診に加え、主体的に取り組んでいる健康づくり等にポイントを付与し、35ポイント以上を獲得した被保険者を対象に抽選会を行い、当選者に景品を贈呈する。

①市町健康増進事業の実施支援（環境整備）

年度	長寿・健康増進事業 実施市町
平成29年度	5市町
平成30年度	4市町
令和元年度	<b>4市町</b>

②応募状況・各賞当選者数

平成30年度 応募総数	A賞 加湿空気清浄機	B賞 ウォーキング ポール	C賞 旅行券 1万円分	Wチャンス賞 クオカード 500円分
646人	4人	10人	10人	300人

※前年度健康診査を受診していないが、応募に併せて受診した者 111人

令和元年度 応募総数	A賞 室内用サイクリ ング型健康器具	B賞 減塩調味料等 詰め合わせ (塩分計付き)	C賞 旅行券 1万円分	Wチャンス賞 クオカード 500円分
770人	4人	10人	10人	300人

※前年度健康診査を受診していないが、応募に併せて受診した者 156人

(9) 市町との連携強化

①市町における保険・健康・介護合同検討会議の開催

各市町で、保険、健康、介護保険等の各担当者と情報の共有、意見交換を行う。

年度	実施市町
平成29年度	18市町
平成30年度	17市町
令和元年度	19市町

②市町を対象とした研修会の開催回数

後期高齢者の保健事業に関する市町対象の研修会の開催。

③KDBデータの活用市町数（市町用ID付与市町）

KDBデータを市町の関連部署で閲覧できるように、市町用IDを付与。

年度	活用市町
平成29年度	15市町
平成30年度	17市町
令和元年度	<b>19市町</b>

④保険者協議会との連携

保険者協議会での後期高齢者に関する情報提供と健康課題の共有化を図る。